



第109号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL.076-259-5962 FAX.076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2023年11月25日
 発行責任者/大谷 学



石川県勤労者共済生協 黒谷理事長(左)と長谷川顧問

厚生労働大臣表彰を受章!

表彰式 日時 2023年10月23日(月)
 会場 ベルサール虎ノ門(東京都)



石川県の受章団体及び個人

【団体】 石川県勤労者共済生活協同組合

理事長 黒谷治夫

○功績

62年間継続して適正かつ円滑に事業を行っており、他の模範となっている。多発化・激甚化する自然災害での住宅損壊等による経済的困窮を防ぐための保障の必要性について周知を行うとともに、災害発生時の被災組合員に対する訪問被災調査・お見舞い活動の経験に基づく防災減災啓発活動に取り組むなど、地域の安全・安心に寄与している。

【個人】 長谷川隆史

元石川県生活協同組合連合会 会長理事 (現 同連合会顧問)

○功績

石川生活協同組合、コープいしかわ、石川県生活協同組合連合会の役員を25年以上続け、生活協同組合の健全な発展と社会的認知度の向上に貢献し、他の模範となっている。少子高齢化がすすむ「能登」に焦点をあて、地域の生産者や行政消費者などとともに「能登」の食材を使用した商品開発をすすめる「のともくるスマイルプロジェクト」に取り組み、その普及を通して地域の発展に寄与した。

(生協連専務理事 浅田 晋一)

厚生労働大臣表彰は、健全な事業運営を行い、他の模範と認められる消費生活協同組合(連合会)及び組合役員に対して、その功績をたたえ、労苦に報いるとともに、併せて組合の健全な発展に寄与することを目的としています。

消費生活協同組合法施行の周年記念事業として5年ごとに実施され、75周年を迎える今年、全国で31団体、個人29人が受章しています。

長谷川顧問 近況報告

生協連第58回通常総会（2023年6月19日開催）で会長理事を退任、顧問に就任した長谷川隆史氏に、近況についてご報告をいただきました。



退任の挨拶をする長谷川氏

やく念願のイタリアツアーに行きました。



イタリアのコロッセオをバックに

石川県生協連会長理事として5年間の在任中、コロナ禍もありましたが、お陰様でなんとか務め上げることができましたことに感謝しています。ロシアによるウクライナ侵攻から1年以上経ち未だに戦禍はやみません。また、最近ではパレスチナのガザ地区のハマスとイスラエルの武力紛争で多数の市民の犠牲が出ています。どちらも歴史的な経過はありますが、憎しみ殺し合いの連鎖はどこかで断ち切らないと悲しみが多くなるばかりです。近況としては、コロナ禍中に全国を周りましたが、コロナ明けでよう

また、最近では近所の居酒屋やバーによく外国人観光客が来ていて、欧米やアジアはもちろん、イスラエルやインドや中南米の人もいてびっくり。世界の人と仲良くすることが平和に繋がるこの思いで交流しています。今後ともこんな感じで可能な限り楽しく生きたいと思います。

（生協連顧問 長谷川隆史）

石川県勤労者共済生活協同組合 第68回通常総代会を開催しました



総代会で挨拶する野村理事長

か、連合会の各種共済事業に関する普及宣伝をおこないます。

なお、任期満了にともなう役員改選をおこない、定款および役員選挙規約にもとづき理事長をはじめ理事20名、監事3名が承認されました。

理事長・代表理事 黒谷 治夫（新任）
専務理事 宮澤 裕二（重任）

2023年7月28日（金）に、石川県立音楽堂 邦楽ホールにおいて、「石川県勤労者共済生活協同組合第68回通常総代会」を開催し、2022年度事業報告および2023年度事業計画などのすべての議案が承認・決定され盛会裏に終了しました。2023年度は、引き続き組合員の拡大、出資増強をはかります。また、総合（慶弔）共済のほ



新役員挨拶の様子

（石川県勤労者共済生協 赤松 智代）

2023年

生協の平和の取り組み



生協連が事務局を務める反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会では、7月29日(土)、金沢市卯辰山玉兎ヶ丘「平和の子ら」像前で4年ぶりにピースデイ2023を開催しました。石川県知事 馳浩氏から力強い挨拶をいただき、平和サークル「むぎわらぼうし」の皆さん他5名による原爆詩の朗読、「でえげっさあ」のミニコンサートで平和への想いを新たにしました。

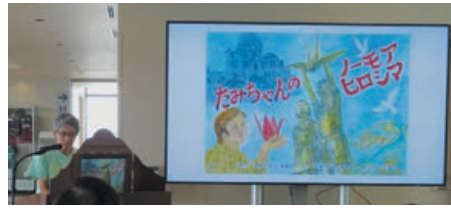


ピースデイで挨拶する
馳知事



原爆詩の朗読

平和のパネル展は8月2日(水)～16日(水)、石川県庁19階展望ロビーで開催しました。



紙芝居上演

オープニングセレモニーで西本多美子さんの被爆体験と平和活動と紙芝居にした『たみちゃん』のノーモアヒロシマ』が初披露されました。

コープいしかわ

8月18日(金)、いしかわ子ども交流センターにて「親子で聴こう！ピースコンサート」を開催しました。コンサートでは、被爆ピアノを全国に運びコンサート開催するピアノ調律師である矢川光則氏のお話を聞きました。78年前に広島で実際に被爆したピアノに接し、その音色による音楽を親子で楽しむことで、子どもたちが平和について考えるきっかけに

なりました。コンサート内では、被爆者からのメッセージ動画も上映し、音楽を楽しむ平和について考える「音楽と平和」を融合させた企画となりました。



親子84名が参加

参加者からは「親子で、という企画がうれしかった。被爆ピアノを間近で見ると音色を聴けるなんて、すごく貴重な体験でした。」などの感想が寄せられました。これからも、平和の大切さを次世代へ継承していく取り組みをすすめていきます。

(コープいしかわ 田谷 英里佳)

金沢医療生協

10月15日(日)、卯辰山公園健康交流センター「千寿閣」にて、医師・中村哲氏の現地活動35年の軌跡、「荒野に希望の灯をともし」(DVD

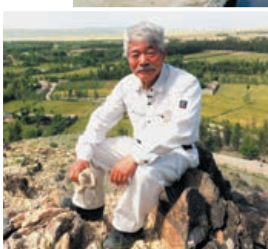
版)の上映会を開催しました。

アフガニスタンとパキスタンで35年に渡り、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた中村哲医師と同行者5名が、2019年12月4日に銃撃され亡くなられました。私たちは、中村医師が携わってこられた井戸堀、「用水路」事業の軌跡を、多くの組合員の方にも知ってもらいたいと思いを企画しました。また、中村医師の「100の診療所より1本の用水路を」と挑戦を描いたこの映画を地域でも広め、さまざまなことを考え、平和な世界に向けて活動していきたいと思えます。

【写真提供：日本電波ニュース社】



中村医師が携わった「用水路」



故 中村哲医師

(金沢医療生活協同組合)

専務理事 柴原 ひろみ)

2023年度第1回役員職員研修会

●日 時 2023年9月26日(火)
 ●形 態 オンライン研修
 ●テ ー マ 「子どもの貧困」

職員研修会に参加して

最初に、金沢大学 人間社会研究人
 間科学系 人間社会環境研究科 地域
 創造学専攻 田邊浩教授から、平成30
 年に実施した「子どもの生活に関す
 る実態調査」から、具体的な数字に



田邊教授

基づき見

えてきた

子どもた

ちの生活

の実態に

ついて報

告いただ

きました。



水島理事長

次に「NPO法人子育て支援は
 ぐはぐ そのままでいいよ」の水島
 栄美子理事長から、子どもの居場所

づくりの

活動につ

いて報告

いただき

ました。



子どもの貧困については、以前か
 ら問題になっていたと思いますが、
 この研修を通して、現在の状況を数
 値で具体的に知ることが出来ました。
 また、子どもたちやその親御さんへ
 の支援を実際に地域で実施されてい
 るNPO法人の方からお話をお伺い
 することができました。私の勤め先
 の比較的近くで活動されていること
 も知り、身につまされる思いでした。
 調査の状況や実際のお話を聞く
 と、おさんの親御さん自身が相対
 的貧困を経験されており、それがお
 子さんに影響していたり、親御さん
 が精神疾患を抱えられており、社会
 的自立が難しい場合などもあるとの
 ことでした。そこには「自分だけの
 力ではなかなか状況を変えることが
 出来ない」という感じがあるような
 気がして、それを当事者一人で解決
 することはかなり難しいことだろう
 など感じました。社会全体で解決で
 きるよう、まずは自分自身の身近な
 ところで何か出来ないかを考えたい
 など思いました。

(金大生協 杉本 恭子)



「いしかわ環境フェア2023」に出展

●2023年8月26日(土)・27日(日)
 ●石川県産業展示館4号館

生協連・コープいしかわのブー
 スでは、「生協のSDGsとエシ
 カル消費」をテーマに、パネルと
 コープのエシカル商品の展示を行
 いました。

また、来場者へはエシカル消費
 について知ってもらうことを目的
 にアンケートをお願いしました。



生協連・コープいしかわのブース

環境フェアに参加して

「いしかわ環境フェア」に4年
 ぶりに参加しました。

生協連・コープいしかわのブー
 スではSDGsのパネル展示を行
 い、アンケートに協力していただ
 いた方に粗品としてミックスキャ
 ロットをお渡ししました。

企画運営委員の皆さんとともに
 アンケート協力について呼びかけ
 を行い、家族連れの来場者が多い
 こともあり、お昼近くには準備し
 ていた用紙がなくなってしまうま
 でした。

ミックスキャロットを受け取っ
 た消費者の方から「これ、昔よく
 飲んどった」「子どもはこれが大
 好き」などの声を聞くことがで
 き、出展を通じて消費者の方との
 接点づくりの一助になったのでは
 ないかと思えます。

(コープ北陸 森田 満)

第45回 東海北陸生協行政合同会議

●日時 2023年10月13日(金)
●会場 ホテルグランヴェール岐阜

本会議は、東海北陸6県(岐阜・静岡・三重・富山・愛知・石川)の

行政と生協の相互理解を深めることを基本とし、1978年より開催されています。毎年テーマを決め、行政からは消費者行政の取り組み、生協からは行政と連携した取り組みが報告されています。このように、他県の取り組みを知り、今後のヒントとなる情報共有の場となっています。今年度は、岐阜県において「安心して暮らせる地域社会づくりをめざして」をテーマに4年ぶりの実参加での開催となりました。



会議に行政、生協から56名が参加

各県行政報告

各県の消費者行政の取り組みについて、令和4年の消費生活相談件数が昨年に比べ増加傾向にあり、「化粧品」「通信販売」に関する相談が増加している点が共通の特徴でした。また、静岡県・愛知県での生協と連携した「エシカル消費」の普及啓発活動(ロゴマークの普及啓発エシカル×あいちマルシェにコープあいちが出展する等)が参考となりました。

開催県報告

行政と生協ですすめる飛騨市の取り組みとして、飛騨市役所よりコープぎふと連携した「地域複合サロン」(買い物||コミュニケーションの場)「貨客混載事業」(移動販売事業の終了に伴う路線バスの実証実験を経ての取り組み)など実践報告がされ、参考となりました。生協と行政がさらに連携を強めながら、コロナ後の新しい生活様式や暮らしの諸課題に対応していける機会となりました。

(生協連専務理事 浅田 晋一)



2023年度フードバンクフォーラム

●日時 2023年8月29日(火)
●会場 石川県女性センター及びオンライン
●テーマ 「多様なつながりで紡ぐ食を通じたセーフティネット」

基調講演では、認定NPO法人フードバンク岩手専務理事の阿部知幸氏から、東日本大震災の直後にボランティアとして岩手県に入り、被災者支援の中でフードバンクに取り組んだ経緯、さらに東北6県11団体をつなぐ東北フードバンク連携センターを設立されたことなどをお聞きし、北陸でも県域を越えた連携を模索中で、参考になる先進事例を伺うことができました。



講演する阿部知幸氏



報告するツエーゲン金沢の灰田さち氏

また、金沢市環境政策課主任の加藤萌子氏から市の食品ロス削減・フードドライブ活動等の支援について、ツエーゲン金沢ホームタウン推進室長の灰田さち氏から市民・企業をつないでのフードドライブ活動について報告がありました。

(認定NPO法人

いしかわフードバンク・ネット

理事 青海 万里子)

県生協連活動日誌

- 8 ● 8月 2日(～16日)
平和のパネル展(県庁19階展望ロビー)
オープニングセレモニー(10:30～11:30)
- 8月 2日 第1回三役会▶古府センター会議室
 - 8月 7日 第1回事業団体連絡会議▶フレンドパーク石川
 - 8月16日 平和のパネル展片付け
 - 8月18日 第2回非常用通信機器訓練
 - 8月26日～27日 いしかわ環境フェア2023
▶石川県産業展示館4号館
 - 8月29日 フードバンクフォーラム
▶石川県女性センター及びオンライン
 - 8月30日 協同組合学習交流会第3回準備会
▶石川県農業会館
 - 8月30日 第4回反核・平和おびづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 8月31日 消費者支援ネットワークいしかわ第3回理事会
▶金沢市長土堀青少年交流センター
-
- 9 ● 9月 1日 第4回労協理事会▶フレンドパーク石川
- 9月 6日 第3回理事会▶生協連事務所及びWeb会議
 - 9月11日 第2回広報委員会▶Web会議
 - 9月12日 第3回企画運営委員会▶Web会議
 - 9月13日 いしかわフードバンク・ネット第2回理事会
▶石川県社会福祉協議会
 - 9月20日 県連活動交流会▶Web会議
 - 9月26日 第1回役員研修会▶オンライン研修
 - 9月26日 消費者支援ネットワークいしかわ第2回消費者部会
▶金沢市長土堀青少年交流センター
 - 9月27日 労協 自治体担当者会議
▶石川県地場産業振興センター
 - 9月27日 連合石川地方議員団との意見交換会
▶石川県地場産業振興センター
 - 9月28日 関西地連第2回運営委員会▶Web会議
-
- 10 ● 10月 6日 第2回三役会▶古府センター会議室
- 10月12日 農福連携フォーラム▶Web会議
 - 10月13日 第45回東海北陸生協行政合同会議▶岐阜県
 - 10月18日 いしかわフードバンク・ネット第5回運営委員会
▶フレンドパーク石川
 - 10月23日 厚生労働大臣表彰 授与式▶東京
 - 10月23日 第3回石川県消費者大会実行委員会▶Web会議
 - 10月25日 第2回監事会▶古府センター会議室
 - 10月26日 石川県防災総合訓練第3回打ち合せ会議▶石川県庁
 - 10月30日 食品ロス削減全国大会▶金沢市文化ホール
-
- 11 ● 11月 1日 第4回理事会▶生協連事務所及びWeb会議
- 11月10日 第53回石川県消費者大会
▶石川県地場産業振興センター及びオンライン
 - 11月12日 第64回石川県防災総合訓練▶能登町
 - 11月13日 2023年度協同組合学習交流会▶石川県農業会館
 - 11月14日 第4回企画運営委員会▶Web会議
 - 11月14日 第3回非常用通信機器訓練
 - 11月18日 石川労協 創立60周年記念講演
▶石川県女性センター
 - 11月30日 関西地連第3回運営委員会、第2回県連活動推進会議
▶Web会議

私のおススメの一冊

歌集副読本
『老人ホームで死ぬほどモテたい』と
『水上バス浅草行き』
を読む

ナナロク社



詩集や短歌に全く詳しくないのですが、書店で目にとまり手に取った本です。きれいな蒼緑色の装丁です。「歌集副読本」とあるように、これは歌人岡本真帆と上坂あゆ美が、互いの著書である歌集『老人ホームで死ぬほどモテたい』(著:上坂あゆ美)・『水上バス浅草行き』(著:岡本真帆)を、どう読み感じ受け止めたかが書かれています。同年代で親しい間柄のお二人がそれぞれの人柄にも言及していて、とても興味深く読むことができました。

読み進めていくうちに、この印刷された言葉たちの向こうにきちんと人間がいることが感じられます。その情景が浮かび、寂しさやうれしさや苦々しさ等、色々な感情の中に漂うような体験は、時間がゆったりとすすむ秋にぴったりです。海辺で読むとなお良しです。海辺でなくとも、森の中でも、空を眺めながらも、ふとんに入りながらでも良しです。ぜひ読んでみてください。

金沢大学生協同組合 井上 恵里

編集後記

今回、編集後記の原稿依頼が来て大変困りました。なぜなら、私はこのような事に携わったことがありません。そもそも編集後記って何だ?何者?と思いパソコンを立上げ、Googleで調べてみた。そうすると編集を終えての感想、取材時の苦労話。発刊でお世話になった方へのお礼などを書くのが一般的で決まりはないとありました。また文面は短く、優しい言葉を使うと良いが身内ネタはNG。知らないことを知る。いい経験です。今後、このような依頼があったら、この経験を活かして書けるかな?と思いました。

生協連だより広報委員 学校生協 宮田 正武

